



リモートPCアレイ 導入事例



1人1台の物理管理から集中管理へ。
「リモートPCアレイ」と「Soliton SecureWorkspace」「SmartOn」で実現した、
運用負荷削減とセキュアなハイブリッドワーク

24時間365日の運用現場を悩ませていた、 物理PCの設置スペースとトラブル対応の負荷

ソリトンシステムズ様の「ITサービスセンタ部」では、同社セキュリティ製品のインシデント受付や運用業務を対象サービスに応じて24時間365日体制で提供しています。従来、この現場で稼働するホストPCは、オペレーター1人に対して物理デスクトップPCを1台割り当てる形で設置されていました。

最大の転機は、Windows 10サポート終了に伴うWindows 11へのリブレースでした。複数台のPCを一括で更新する必要があり、従来型の個別キittingでは対応工数が膨大になる懸念がありました。さらに、派遣社員や業務委託等の流動的なスタッフも多く、端末の再設定や再キitting作業が継続的な運用負荷となっていました。服部氏は当時の課題を次のように振り返ります。

「大量の物理PCを配置していたため保管場所の確保だけでも大変でした。さらにトラブルの際は『現場の誰かが物理的にPCを確認して再起動する』といった対応が必要で、対応のために誰かが常にオフィスに待機していなければならず、運用保守の負荷も課題となっていました」



株式会社ソリトンシステムズ
ITセキュリティ営業統括本部
DXサービスソリューション本部
ITサービスセンタ部
服部 玲子氏

物理PC感覚で扱えるシンプル 構造がもたらした導入決断

この非効率な管理から脱却すべく検討されたのが、アセンテックの提供する「リモートPCアレイ」でした。複数のPCカートリッジを1つの筐体に搭載する本製品は、複雑な仮想化設計が不要で、物理PCと同じ感覚でシンプルに運用できる点が同社の要求に合致しました。

導入のきっかけについて、光井氏は次のように語ります。

「別のプロジェクトでリモートPCアレイに携わっており、その情報でDXサービスソリューション本部の責任者に伝え、『この仕組みなら現在の運用環境が抱える課題を解決できるのではないか』との評価を受け、自社導入の検討が進みました」

その後、アセンテックによる勉強会が実施され、本格的な技術検証へと進みました。

「直感から始まったプロジェクトですが、検証を重ねた結果、求める要件を十分に満たしていることが確認できました。アセンテック様の営業と技術が一体となったサポートのおかげで、実務担当の服部へのボタンタッチもスムーズに行え、信頼感を持って導入へと舵を切ることができました」と畠山氏は語ります。

本プロジェクトにおけるシステムの必要要件は、主に以下の通りでした。

【必要要件】

- ・ オペレーターが業務で使用するシステムやアプリケーションが、安定して動作すること
- ・ 情報漏洩防止とアクセスの安全性を両立させるため、隔離領域を生成する自社製品「Soliton SecureWorkspace (以下、SSW)^{※1}」を介して接続できる環境であること

物理PCの新規購入では解決できない、 キittingと設置スペースの壁

Windows 11へのリブレース検討当初、比較対象はVDIではなく「新規の物理デスクトップPC購入」でした。

※1: Soliton SecureWorkspace
PC上にデータを残さない隔離環境を構築するソリューションです。既存PCを活用して低コストで端末分離を実現し、自治体の「端末複数台持ち解消」を支援します。



株式会社ソリトンシステムズ
ITセキュリティ営業統括本部
DXサービスソリューション本部
ITサービスセンタ部
服部 玲子氏(左)
畠山 格氏(中央)
パートナー推進本部 プロダクト推進部
光井 一輝氏(右)



企業名	株式会社ソリトンシステムズ
設立	1979年3月1日
従業員数	655名
所在地	東京都新宿区新宿 2-4-3

設立以来、ソリトンシステムズはIT・エレクトロニクス業界にあって、常に新しい技術トレンドを見据え、いくつもの「日本で初めて」を実現してきました。近年は、認証を中心としたITセキュリティからサイバー対策まで、また、携帯電話回線4G、5GやWi-Fiを利用した高精細の映像伝送システム、遠隔運転、遠隔操作などに取り組んでいます。国産メーカーとして、オリジナルの「もの創り」、「独創」にこだわった製品とサービスを提供しています。

<https://www.soliton.co.jp>

しかし、物理PCをそのまま導入するだけでは、キittingの手間や管理コスト、設置スペースという課題は解決されません。そこで検討されたのがリモートPCアレイです。服部氏は物理PCと比較した際のリモートPCアレイの魅力を次のように語ります。「物理PCをそのまま数十台導入した場合、施錠されたセキュリティルーム内にすべてを設置することはスペースの制約上不可能です。しかしリモートPCアレイであれば、1Uの筐体にすべてを集約し、施錠されたサーバーラックへまとめて収納できます。物理的な盗難や紛失のリスクをシャットアウトした上で、安全に集中管理できる点が非常に大きな魅力でした」

数ヶ月の想定が「1週間」に！全台移行を完了させた驚異のスピード



株式会社ソリトンシステムズ
パートナー推進本部 プロダクト推進部
担当部長
光井 一輝 氏

服部氏は、キittingスピードの向上について以下のように話します。「SSWの各種設定やドメイン参加、デジタル証明書の割り当てなど、各カートリッジに対して個別に行わなければならない精密な設定項目が非常に多く、プロジェクト当初は数ヶ月かけて段階的に泥臭くキittingしていくしかないと覚悟していました。しかし、アセンテック様に迅速かつ確かな技術サポートをいただけたこともあり、24時間365日の運用を止めることなく1週間という短期間で約30台分の移行が完了してしまいました。この圧倒的なスピード感には本当に感動しました」

自席から数クリックで遠隔再起動。集中管理による運用負荷を軽減

リモートPCアレイの導入により、リモートKVM機能を活用した一括集中管理が可能となりました。万が一特定のカートリッジでフリーズ等の不具合が発生した場合でも、管理コンソールから状況を遠隔で把握できます。

服部氏は導入後の運用の変化について実感を込めて語ります。「以前の物理PC環境では、OSのハングアップなどが起きるたびにPCを再起動してほしいという依頼が頻繁にあり、オフィス内の物理管理に手がかかっていました。それが今では、デスクからコンソールを操作して数クリックで遠隔から再起動ができるようになり、現場の物理的なトラブル対応を減少させることができました。管理者としての運用保守の負荷は軽減されています」

SSWの隔離領域とSmartOnの本人認証による「二重の防御」

ソリトン様が最も重視したのは、自社セキュリティ製品を組み合わせた徹底的な情報漏洩対策です。手元のPCには多要素認証システム「SmartOn」※2を導入し、二要素認証や離席時

の自動ロックを適用。この認証をクリアしたPCからSSWを介してリモートPCアレイへ接続する構成を組んでいます。

服部氏は二重の防御体制がもたらした柔軟な働き方の恩恵を次のように説明します。「手元のクライアントPCはSSWの制御によって最低限の『データしか持たない端末』となっているため、自宅や外出先でも適切なセキュリティ対策のもとで業務が行えます。このSSWとSmartOnの組み合わせによって、様々なデータを預かるオペレーターに対しても、安全にテレワークを許可し、場所に縛られないハイブリッドワークを安心して提供できるようになりました」

物理PCの撤去がもたらした、オフィス環境の改善

ホストPCがサーバーラックへ集約されたことで、オフィスの自席には薄型ディスプレイとキーボード、軽量ノートPCのみを配置するスマートな環境が実現しました。

畠山氏は、オフィス環境が生まれ変わったことへの喜びを次のように語ります。「オフィスの管理面から見ても、今回の導入効果を得られました。以前は、レイアウト変更のたびに重い物理PCを大量に配線し直す必要があり、配線トラブルやネットワークの不具合が多発していました。物理PCをラックに集約し、オフィスを実質手ぶらで動ける環境にしたことで、レイアウト変更に伴うインフラの引き直し作業等コストを大きく削減できました。これはオフィスの運用効率化として非常に価値が高いと感じています」

RPAや重要業務システム等、横展開も検討

ソリトン様では、現在アクティブとして稼働しているカートリッジの他に、ある程度の余剰を確保した状態で運用を開始しました。

畠山氏は将来の拡張に向けた期待を次のように話しました。「現在は主にオペレーターたちのホストPCとしての利用が中心ですが、将来的にはRPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）の実行環境として数台のカートリッジを割り当てたり、特定の業務システム専用の安全な仮想スペースとして稼働させたりするなど、このセキュアなインフラを様々な形に工夫して横展開していきたいと考えています。

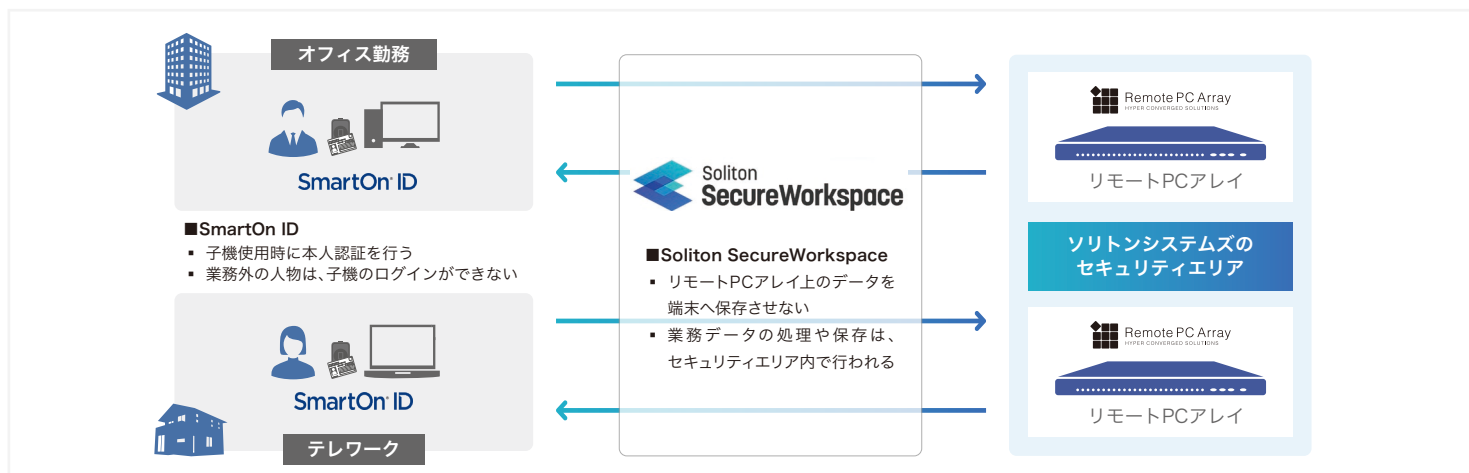
当社の運用チームは派遣社員の方も多いため、入れ替わりなどで人や役割が変わる中、各種システムへのアクセス環境をいかに迅速かつ安全に提供できるかが重要です。リモートPCアレイはその要求に応えてくれると期待しています」

※2: SmartOn
顔認証やSSOで利便性を損なわずにPCの本人認証を強化するソリューションです。パスワードレス化を推進し、自治体のセキュリティガイドライン要件に適合した安全でスムーズな業務環境を実現します。



株式会社ソリトンシステムズ
ITセキュリティ営業統括本部
DXサービスソリューション本部
ITサービスセンタ部 担当部長
畠山 格 氏

システム構成図



アセンテック株式会社

Ascentech K.K.

〒101-0022 東京都千代田区神田練馬町3 大東ビル9F
TEL : 03-5296-9331 (代表) FAX : 03-5296-9332
E-mail : eigyo@ascentech.co.jp

www.ascentech.co.jp

※本件に掲載する社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。